

— 記 者 発 表 資 料 —

横浜港の大黒ふ頭再編改良事業に着手します
～ 12月10日に着工式典 ～

関東地方整備局では、横浜港大黒ふ頭地区におけるふ頭再編改良事業に現地着手することになりました。

本事業により、更なる自動車関連産業の拡大と観光客・観光収入の増加を目指します。

つきましては以下のとおり、着工式典を開催しますのでお知らせします。

1. 式典名称 横浜港大黒ふ頭再編改良事業着工式典
2. 開催日時 平成29年12月10日（日） 10:30より
3. 会 場 横浜市鶴見区大黒ふ頭内
(P3・P4岸壁(-7.5m)背後 荷さばき地内)
4. 主 催 国土交通省 関東地方整備局
5. その他 着工式典の取材をご希望される報道関係者の方は、別添1を参照の上、別添2の取材申込書にてFAXでお申し込み下さい。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、神奈川建設記者会、
横浜海事記者クラブ、物流専門紙、その他専門紙

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 京浜港湾事務所 電話 045-226-3746
副所長 たきもと かずお 滝本 一夫 港湾保安調査官 いとう たくみ 伊藤 巧

式典会場



事業概要

【事業概要】

横浜港は日本を代表する完成自動車の輸出拠点及びクルーズ船の受入拠点となっている。近年の自動車運搬船の大型化、完成自動車の取扱台数の増加への対応に加え、横浜ベイブリッジ桁下を通過できない超大型客船の受入機能の強化にも資するよう、大黒ふ頭地区における既存岸壁の老朽化対策に併せた埠頭の再編改良として、岸壁(水深12m)等の整備を行うものである。

事業期間 平成28年度～平成32年度

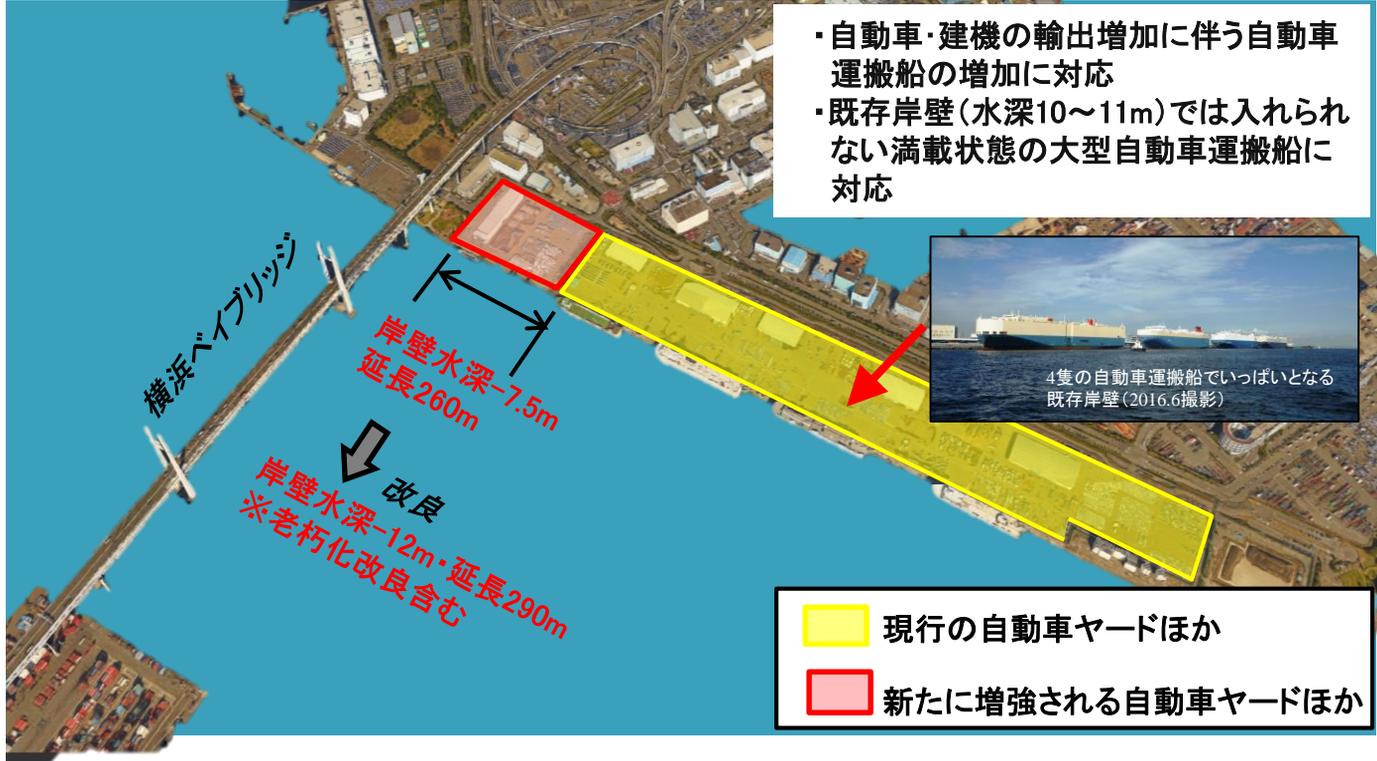
総事業費 89億円

【整備効果】

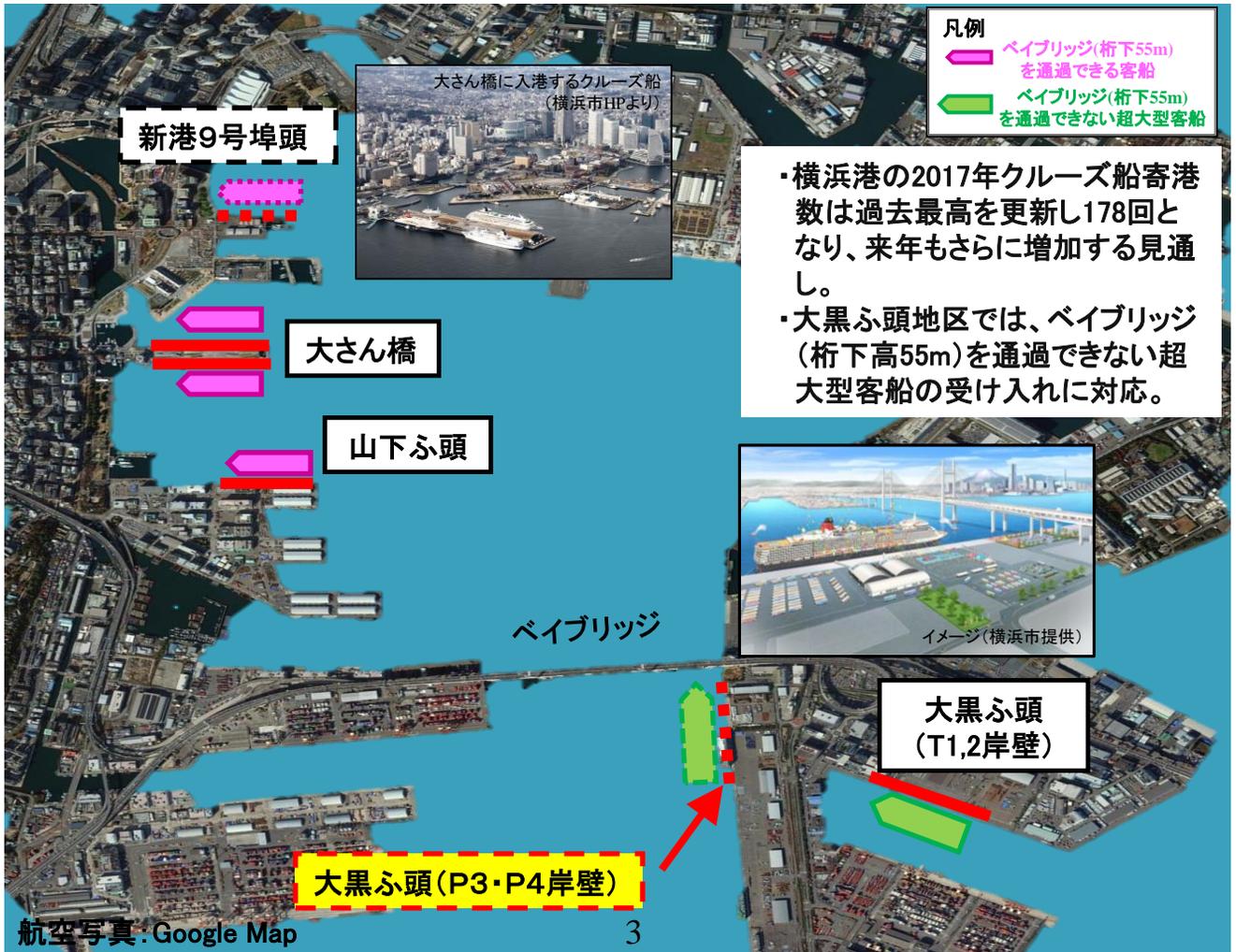
自動車運搬船の大型化や完成自動車の取扱台数の増加へ対応することで海上輸送コストの削減や自動車関連産業の拡大が期待される。また、超大型客船の寄港増加・訪日観光客の増加による観光収入の増加なども期待される。

事業概要

自動車の輸出増加や運搬船大型化への対応



超大型客船へも対応



取材要領

(1) 取材場所・日時

場所 横浜市鶴見区大黒ふ頭内（P3・P4岸壁背後 荷さばき地内）

日時 平成29年12月10日（日）10時30分より

- ・特設会場内でのカメラ撮影

※特設会場外での撮影はご遠慮願います。

(2) 報道事前申込

取材にあたっては事前登録が必要となります。取材を希望される方は、12月6日（水）17時までに、所定の取材申込書にてFAXでお申し込みください。

(3) 報道受付場所及び受付時間

場所 横浜市鶴見区大黒ふ頭内（「式典会場図」を参照）

時間 当日（12月10日）の10時00分～10時30分

(4) その他

- ・受付後は取材終了時まで身分証及び自社腕章を必ず着用してください。
- ・現地では係員の指示に従ってください。
- ・現地への移動は各自で行ってください。
（駐車場は指定の場所をご利用願います。）

